

### 目標達成計画

作成日: 令和 5年 9月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	手紙や写真を活用した交流会等、感染対策の中でも行える地域との繋がりへの工夫に期待したい。	何らかの形で地域の人々との交流を図る。	近くの保育園児童との交流。手紙や手作りの物を交換するなど感染対策をとりながらも行える取り組みを実施していく。マスク着用での地域の敬老会への参加も行なっていく。	12ヶ月
2	6 (5)	玄関の施錠について、入居者の「安全確保」と「行動制限」の両面で職員や家族で協議し、限定的な開錠の試行など、施錠に頼らない取り組みに期待したい。	限定的に開錠時間を決める。	玄関センサー等を活用して安全確保を行なった上で玄関の施錠時間を決めて日中は開錠する方向で検討する。	3ヶ月
3	35 (13)	コロナ禍以前のように自治会長への避難訓練の案内や災害時の食事体制の検討が望まれる。	自治会長への避難訓練の参加協力を得る。地域の方と共同して避難訓練を実施する。	運営推進会議等で避難訓練の実施状況や方法などを話し合い協力を得る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。